

# 医療生協わたり病院 医学生通信

＜第6号＞ 毎月1回発行



～皆でおしゃべり(医局にて)～

〒960-8141 福島県福島市滝利字中江町34  
医療生協わたり病院 医局事務課  
tel.024-521-2056 Email: rinkene@mc.u-coop.or.jp

**御礼！1週間で、  
6年生2名を含めた5名の  
医学生の皆さんが実習しました**

地域の最前線で培ったチームワーク。

患者さんの目線に寄り添う

スタッフのまなざし、笑顔。

わたりでの実習で感じてください。



## 実習を通して変わったこと

before

- 家庭医療とか総合診療科とか興味あるけれども初期研修病院はどこがいいんだろうか。
- わたり病院は小さめだけど研修しっかりできるのか。初期研修医をみて当直体験でもしてみよう。
- せっかくなので往診を見てみたい。

after

- 北野先生素敵！やっぱり在宅医やりたい！
- わたり病院は相談室も良く機能していてプライマリケアやチーム医療が円滑に出来そう。
- 自分の理想の医師像についてももっと勉強して理解を深めて必要なことをはっきりさせて研修病院を選ぶ基準にしよう。

実習発表会でプレゼンされたわたり病院の印象

福島県立医科大学5年のM. Kさんは、9月4日から6日の3日間、当院の実習に参加しました。

【感想より】

初期研修医の山内先生について同行しました。病棟での仕事ぶりや、救急外来での対応など真摯で丁寧な印象をうけました。指導医や上級医の先生にもわたり病院の事をざっくばらんにお話しさせてもらえてよかったです。

在宅医療の熱い思いを北野先生にお聞きして感銘を受け、素敵だなと思いました。ソーシャルワーカーの方の熱心な説明を聞いて、地域のニーズにできていることを実感し、チーム医療が実践されていることが分かりました。

病院全体の雰囲気もかなり良く、快く実習することができました。ありがとうございました。

## 臨床実習前の医学生の方々も、実習に参加してます！



「患者さんの背景まで考えられる医師になりたい」

K. Rさん 埼玉医科大学1年

8/21・22の2日間、基本的な医師の仕事・看護師の仕事・病院の他職種の業務・在宅医療・地域活動について実習しました。

原発事故の影響で、未だに避難生活を送っている浪江町の仮設住宅入居者支援のためのお茶会・健康チェックに参加しました。



「わたりの患者を主体にしたチーム医療に期待」

M. Aさん 福島県立医大1年



保健師さんの話を聞きわたり病院が組合員とともに地域の健康を守る活動を積極的に行っていることを知った。

医師不足が危惧されている中で、このような活動は有意義であると感じました。手術見学では初めての経験でオペ室の独特の雰囲気にもなれてしまいました。(笑)

病棟のほぼ全域を各部署のみなさんに説明していただき、医療活動がチームワークで行われているのを実感しました。

## 医療生協はみんなの病院

F. Yさん 福島県立医大1年



小児科と循環器に興味があり、小児科と心臓カテーテル検査を見学させていただきました。いいの診療所で松本純先生に、飯野地域での放射線と原発に対する取組みを教えてもらい、デイサービスと、多職種カンファにも参加しました。

病理検査科の実習も大変勉強になりました。医療生協の地域での保健活動についても知ることができ、実際に院内ボランティアに参加して、地域のみなさまとお話できたことで、わたり病院は地域密着型のみななの病院であることを実感しました。



小児科病棟での実習のようす

## 二次救急当直体験に挑戦

I. Mさん 福島県立医大2年



武井大先生と(医局にて)

今回2回目の当直実習になります。いかに素早く鑑別診断をし、的確な指示をするかという医師の大変さが理解できました。

患者さんのQOLを考慮した方針を立てようとする武井医師の姿勢に心打れました。医師を支える看護師さん、まさにチーム医療を学ぶことができました。

わたり病院のキーワードである、「地域医療 チーム医療 無差別・平等」をメディカルスタッフのみなさんが実践すべく頑張っていると感じました。またよろしくお願ひします。



## 地域医療を実感!

K. Hさん 獨協医科大学4年



これまでの実習では、診療所や在宅往診、仮設入居者支援など地域に出ることが多かったのですが、病院内中



心に実習をしました

救急患者さんを診ることができたり、外来診療を見学し、実際の医療現場のイメージをつかむことが出来ました。また、西田先生から時折診察に関して問いかけをしてもらい、即答できないことになり、もっと勉強せねばと感じました。久しぶりの地元の実習で地域医療を実感しました。



## いのちと生活を守り、人権を尊重できる医師になりたい。

T. Gさん 福島県立医大5年



福島県立医科大学5年のT. Gさんは9月2日から6日の5日間、当院の実習に参加しました。

### 【感想より】

わたり病院は、メディカルワーカーがきびきびと働いてらして他の病院より元気がある気がします。これでこそチーム医療が成りたつのだと思います。



通所リハビリセンターの送迎に同乗

地域医療は単に病院や診療所に医療スタッフがれば成り立つ訳ではなく、地域の住民の間にコミュニティが存在し、医療スタッフがそこに参加することが健康を守るのに重要であると思います。近所のつながりがときには時には医師も知らない情報を引き出したり、住民が相互に健康状態を確認したりできる場所が必要なのだと思います。

仮設支援の健康チェック&お茶会に参加するときは私服のほうがよかったでしょうか…。白衣の方が、参加者の方々にお話ししていただきやすいのかと思うと悩ましいです。(笑)このような地域のフィールドワーク的な実習は積極的に組入れてほしいです。

在宅は患者さんの様子をご家族と共有することが不可欠だと感じました。



在宅往診のようす

チーム医療で患者さんの望む医療ができたらいと思います。

患者さんやご家族の人権を守るのは医師の態度ひとつで、変わると思います。わたり病院の先生は、みなさん患者に対して真摯で素晴らしいと思います。

実習ありがとうございました。

医療生協わたり病院が加盟する福島県民医連が運営する、「**医学生センター みんなる**」が南福島駅に開設されました。友人と是非お茶でも飲みながらひと休み、学習などにきませんか?医学生通信の無料コピーチケットで50枚まで無料でコピーが可能です。是非利用してくださいね。場所は東日本学院向かいです。

TEL: 024-563-4714

無料コピー  
チケット

※50枚までOK  
<医学生センター  
みんなる>

無料コピー  
チケット

※50枚までOK  
<医学生センター  
みんなる>

無料コピー  
チケット

※50枚までOK  
<医学生センター  
みんなる>